視点

被災者の自立に向けて

災害公営住宅の整備が進んできた。

災害公営住宅は、全部で801戸整備する予定で、そのうち、平成27年12月現在489戸が完成し、すでに入居が始まっている。残りについては、平成28年度末までに全戸が整備される予定である。

小中学校の校庭開放については、平成28年7～9月にかけて開放される予定とされ、一部開放される大船渡中と、仮設グランドのある大船渡一中のみが平成28年度いっぱいまで仮設住宅の撤去がずれ込むことになる。

被災者の心労に寄り添う

このような状況の中、議会としては総務、教育福祉の各常任委員会が、災害公営住宅に移った方々と意見交換を行ってきた。その中では、コンクリートやクロスが浮いている、ドアが重いなどの建物に関することや、仮設住宅から災害公営住宅に移ったことによる新たな住民同士のコミュニティをつくる難しさも聞こえてきた。

被災者にとっては、環境が変わるたびに新たな課題に向き合うことになる。引越しや新しい環境への心労も多いと思う。

一方で、「災害公営住宅に移って、安心した生活をしている。みんなも早く災害公営住宅に移り、落ち着いた生活を取り戻してほしい。」との感想を新聞で目にした。身体的な理由などで、自力で生活できなくなった人もいるだろう。だが、すべての支援は、被災者がひとり立ちするために行われてきたのである。

自立へ主体的な取り組み

ある災害公営住宅では、入居された人たちで「書道教室」や「花植え」などを行っている。入居者が主体となって、入居者のための取り組みが始まっている。参加者の多い少ないにかかわらず、団地内の小さなコミュニティが生まれてきていることに、明るい希望が見えてくる。

災害公営住宅は仮設住宅とは異なり、入居者が主体的に取り組み入居者や地域の人たちと交流する生活の場である。

アイディアを出し合い、自らが準備し、後片付けを行う。行事が終わった後は、参加者も支援者も「お疲れ様」と声をかけ合う。そうした中から生まれる人とのつながりを大切にしたい。

小さな意識や行動の積み重ねが、やがて自立への力強い一歩となるのだろう。

議会：主な活動日誌

10月14日	災害復興対策特別委員会産業建設部会
15日	大船渡地区環境衛生組合議会第2回臨時会、大船渡地区消防組合議会第2回臨時会
16日	議会改革調査特別委員会議会機能強化部会、会派代表者会議
19日	議会運営委員会
20日	第3回臨時会、全員協議会、月例報告会、災害復興対策特別委員会幹事会
21日	新政同友会会派視察（～23日）
23日	「大船渡遠野連絡道路」の早期実現に向けた懇談会
26日	平成28年度予算に係る会派要望、災害復興対策特別委員会、災害復興対策特別委員会幹事会
27日	議会改革調査特別委員会議会機能強化部会
28日	気仙地区議会議員協議会の岩手県に対する要望運動、災害復興対策特別委員会総務部会
29日	議会改革調査特別委員会研修会、岩手県後期高齢者医療広域連合議会臨時会
30日	平成28年度予算に係る地区要望
11月2日	災害復興対策特別委員会産業建設部会
4日	災害復興対策特別委員会教育福祉部会
5日	災害復興対策特別委員会幹事会
10日	災害復興対策特別委員会、岩手沿岸南部広域環境組合議会議員代表者会議
11日	議会運営委員会行政視察（～12日）
13日	教育福祉常任委員会と大船渡市身体障がい者協会との懇談会、「大船渡遠野連絡道路」の早期実現に向けた懇談会
16日	ＪＲ大船渡線の本復旧にかかる提言書の提出、岩手県市議会議長会議員研修会
18日	議会改革調査特別委員会議会機能強化部会、災害復興対策特別委員会教育福祉部会 災害公営住宅入居者との意見交換
19日	災害復興対策特別委員会総務部会 災害公営住宅入居者との意見交換
20日	議会運営委員会、議会改革調査特別委員会研修会
24日	「大船渡遠野連絡道路」の早期実現に向けた対県要望会
25日	第4回臨時会、全員協議会、総務常任委員会、岩手県後期高齢者医療広域連合議会定例会
26日	気仙広域連合議会第2回定例会、大船渡地区環境衛生組合議会第2回定例会、大船渡地区消防組合議会第2回定例会
27日	岩手沿岸南部広域環境組合議会定例会
30日	議会改革調査特別委員会議会機能強化部会
12月1日	議会運営委員会
4日	第4回定例会本会議（初日）、総務常任委員会、教育福祉常任委員会、市政調査会幹事会
7日	教育福祉常任委員会
8日	総務常任委員会、議会改革調査特別委員会幹事会・開かれた議会部会
9日	第4回定例会本会議（一般質問）
10日	第4回定例会本会議（一般質問）、議会運営委員会、総務常任委員会
11日	第4回定例会本会議（一般質問）、教育福祉常任委員会、災害復興対策特別委員会産業建設部会
15日	第4回定例会本会議（最終日）、議会改革調査特別委員会・議会機能強化部会
17日	議会運営委員会
18日	平成27年度大船渡市議会防災訓練
21日	議会改革調査特別委員会議会活性化部会
22日	岩手沿岸都市議会連絡会議 岩手県知事に対する要望活動、岩手・宮城県際市町議会議長会 岩手復興局に対する要望活動、光政会会派視察
24日	全員協議会、災害復興対策特別委員会、月例報告会、議会改革調査特別委員会幹事会
25日	総務常任委員会、災害復興対策特別委員会総務部会
28日	災害復興対策特別委員会教育福祉部会
1月5日	議会改革調査特別委員会幹事会
7日	議会改革調査特別委員会開かれた部会・議会機能強化部会・議会活性化部会
8日	会派代表者会議
13日	議会改革調査特別委員会研修会、災害復興対策特別委員会教育福祉部会

編集後記

あけましておめでとうございます。東日本大震災から5年目を間近に控えた本年、本格的な復興事業の進展とともに、復興公営住宅の大半が完成の見通しとなり、少しずつ希望が見えて来たように思います。

昨年はＪＲ大船渡線の復旧をどうするかと言う大きな決断の年でありました。

市議会としても、鉄路復旧の提言を行ってきた責任から、独自の調査を行い「現実的な方法としてＢＲＴでの復旧を容認せざるを得ない」と結論づけ、その旨を11月16日、市議会の総意として、市長に提言致しました。

皆様におかれましては、多大な関心事であったと思いますが、本年も地域住民の声に真摯に耳を傾けながら、皆様とともに住み良いまちづくりにまい進して参ります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

＊市議会だより編集委員会＊

委員長	今野 善信
副委員長	千葉 盛
委員	榊田 弘也
〃	船砥 英久
〃	小松 龍一
〃	渕上 清
〃	森 操

PRINTED WITH SOYINK
「大船渡市議会だより」は、国等による環境物品等の調達の推進に関する法律（グリーン購入法）に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙と大豆インキを使用しています。